



防災訓練で自治体として全国初のFM放送局を開局

市は本年度、大災害時における安否情報や生活情報などの伝達手段確保のため、臨時災害FM放送用の可搬型機器類を購入し、12月1日の地域防災訓練の中で、FM放送を実施しました。

臨時災害放送局は災害時に、市が開設する一時的なFMラジオ放送局で、今回、緊急時に備えて装置の有効な活用方法を検討するため実施されました。放送用の仮設アンテナをオフサイトセンター屋上に設置し、災害対策本部から訓練情報を放送しました。

地域防災訓練で本格的に活用するのは自治体として全国初の試みで、今回の訓練では市内33の自主防災会および8の方面隊が、各避難所、防災訓練場所において電波状況の確認などを行い、携帯ラジオの有用性のPRと、災害時におけるFM放送の活用法を検討しました。



全国・東海で活躍を期待

秋の大会で好成績を収め、上位大会に出場する浜岡中学校の生徒4人が12月16日、石原市長のもとを訪れ、大会の結果や今後の目標を語りました。

徳本大紀くん（門屋）はバレーボールの県選抜に選ばれ全国大会へ、岡村泰知くん（東町）はバスケットボールの県選抜に選ばれ、東海大会で優勝、坂野志穂さん（新野）、松本由依さん（塩原）はソフトテニスの東海大会へ、ペア個人戦に出場します。



火災予防の意識向上へ

火災予防意識の向上と、消防団の活動を理解してもらうことを目的とした、夜間特別警戒がスタートしました。初日となる12月25日、市役所正面玄関前では、出陣式が行われました。予防消防意識を高めるため、市内の小学生も参加し、消防団員と共に消防車両に乗り、「消すまでは心の警報ONのまま」と火災予防を呼びかけながら市内を回りました。